

令和2年度病虫害発生予察注意報第9号

令和3年3月12日
愛知県

作物名：コムギ
病虫害名：赤さび病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い（早い）
- 3 注意報発表の根拠

- (1) 本病は、2月1日から3月31日までに、日平均気温12℃以上かつ降雨があった日が4回以上あると多発することが知られている。一部地域において2月1日から3月11日までにこの条件を満たす日が4回観測されており、本病が多発した平成27年、28年と気象条件が類似している。
- (2) 名古屋地方気象台3月11日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わり、平年と比べ気温は高い見込みである。このため、今後も赤さび病の感染好適条件となる可能性が高い。
- (3) 冬季の気温が高く経過したためコムギの生育が進んでいる。赤さび病は、葉色が濃くなる出穂期頃から発生が急増することが多い。

4 防除対策

本病は、多発すると葉が早期に枯れ上がり、収量・品質が低下するため、発生初期から防除することが大切である。

本病の病原菌は、前年作から飛散した夏胞子が第一伝染源であるため、前年に発病が確認された地域では、特に注意する。

茎立期から止葉抽出期までに1回、開花期に1回、表を参考に薬剤を選定して、防除を行う。

表 コムギ赤さび病の主な防除薬剤

薬剤名	成分名	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	FRACコード
麦類 ワークアップフロアブル	メトコナゾール	収穫7日前まで	散布、 無人航空機による散布	3回以内	3
小麦 ストロビーフロアブル	クレソキシムメチル	収穫14日前まで	散布	3回以内	11
アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	収穫7日前まで	散布	3回以内	11
イントレックスフロアブル	フルキサピロキサド	収穫7日前まで	散布	3回以内	7
シルバキュアフロアブル	テブコナゾール	収穫7日前まで	散布、 無人航空機による散布	2回以内	3
チルト乳剤25	プロピコナゾール	収穫3日前まで	散布	3回以内	3

使用回数には、同一有効成分を含む剤の使用回数を含む。
農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室
電話 0561-62-0085 内線471